



# We Love インターネットで見つけたCOOL&FOOLが大集合 Internet People

このコーナーは、インターネットビブルの皆さんが作るページです。話題のインターネットビブル、ネットワークのこぼれ話、読者のサーフィン情報など、読者のみなさんの投稿と編集部が日頃の取材で集めたネタから旬の話題を提供します。たくさんの人の参加をお願いします。

Let's Access!!

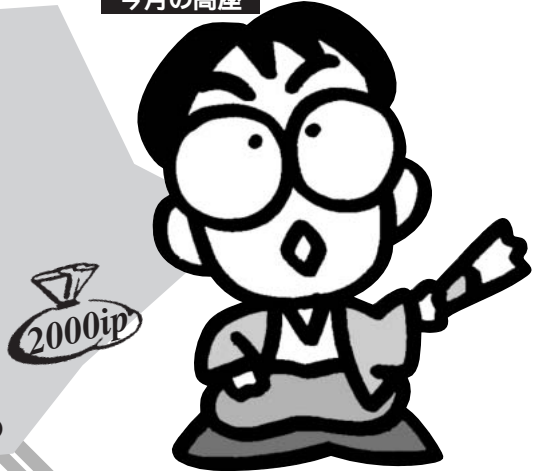
## Shouting!

### 今月の高座

インターネット碁会所 (IGS : Internet Go Server) へもっと日本人の参加を! まず、Yahoo (www.yahoo.com) から Entertainment Games Board Games Go Internet Go まで進み ftp で Go/client をダウンロードしてください。Mac、Windows 3.1、UNIX いずれもシェアウェアまたはフリーウェアです。次にダウンロードした Go/client を使って自分のプロバイダーにアクセス。つながったところで telnet を起動し、Session name に igs.nuri.net 6969 と入力して OK します。コマンドを覚えるのは大変なので、guest で入って help、

help games、help observe などを入力して使い方を教えてもらっているうちにすぐに慣れてきます。打ち手はせいぜい 5~6 級。強い人でも初段まで。なぜかという、強い日本人、中国人がほとんど参加していないから。ところで、Go server は世界に 100 以上あるのに日本ではさびしいかぎり。日本でのインターネット碁会所サーバーを立ち上げるのに奔走できる同好の志を募っています。電子メールは yoshi3t@yk.rim.or.jp まで。

(吉川 公)



### 編集部



囲碁のサーバーが世界に 100 もあるとは知りませんでした。パソコンで囲碁を楽しむ人も多いようですし、囲碁情報を載せたホームページもいくつかあるようです。町にある碁会所に専用線を引けば、インターネットで全国選手権を開催することもできますね。世界選手権もできるかもしれません。すでに専用線を引いている碁会所がありましたらインターネットマガジン編集部までお知らせください。このコーナーで紹介します。電子メールは ip-box@impress.co.jp まで。

日本棋院ではまだ LAN の施設へ向けて準備をしている段階です。囲碁ネットワークということですが、全棋譜情報、通信講座、囲碁グッズ、各種大会の案内など多くの可能性があります。パソコンの普及、ウィンドウズ 95 のヒットをみても、インターネットは急速に普及するだろうと予測されます。本院もインターネットの囲碁サーバーを開設してファンのニーズに応える時機にあると考えています。

(日本棋院の藤田寿樹さんのお話)



# Chatting!

## 声を聞かせて

同僚が、出張でシンシナチへ行くことになりました。そこで同地にもアクセスポイントがあるPSIへの加入を勧めました。彼はさっそく加入し、出発数日前に、私が彼のマッキントシュのセットアップを行いました。出発後、数日を経て、アメリカに無事に着いたというメールが届きました。私は、「まさか、日本へ国際電話をかけていないだろうな」と返事を送りました。再び彼からメールが届きました。シンシナチのアクセスポイントに電話をしているが、夜はなかなかつながらないとのこと。日本もアメリカも、夜間はインターネットへのアクセスが困難なようです。



新しいメーリングリストへ入会したのですが、今までのメーリングリストになかった失敗がありましたので、皆さんの参考になればと思い、書きました。あるメーリングリストへ入会したのですが、そこでは入会希望のメールを出した後にメールがくる

ようになっていました。メールを読んでいくと、会員全員に転送すると書いてあり、今までの経験からそのメーリングリストサーバーのアドレスから会員にメールを転送すると思っていました。今回コードラで配達証明にチェックをしたままメールを出したのですが、普通にメールを出したらそのアドレスにメールが行きましたよという連絡が返送されますが、何とメーリングリストの会員全員から配達証明のメールが送られてきたのです。何とその千通近くです。私書箱をチェックをしている中にあまりの数のためマックが何回もフリーズしてしまう始末です。初めは何が起こったんだとビックリしてしまいました。これから新しくメーリングリストに入会をしようか思っている方、コードラの配達証明は外して参加するのがいいと思います。



最近はインターネットカフェなどで、外出先でWWWを利用することも多

くなったと思います。ところが、いつもよく行くホームページのURLを忘れてしまい、自分のBookmarkを見なくなったことはないでしょうか？ そんなときのために、NetscapeのBookmark書き出し機能（HTML形式）を利用してBookmarkファイルを作り、自分のホームページのすみのほうに目立たない文字（たとえばピリオド）を置き、そのファイルにリンクさせます。自宅の電話番号を忘れないのと同じで、自分のホームページのURLを忘れることはないでしょうから、外出先で利用したくなったらまず自分のホームページへ行き、Bookmarkページへ入れば、いつも行く場所へすぐにジャンプできます。ありきたりのアイデアですが、けっこう役に立ちます。「困ったときのマイホームページ」といったところでしょうか。なお、Bookmarkファイルは他の人にも見られる可能性がありますので、H系ページへのリンクは削っておいたほうがよいでしょう。H系へのリンクの多さを自慢するなら話は別ですが、ハハハ。



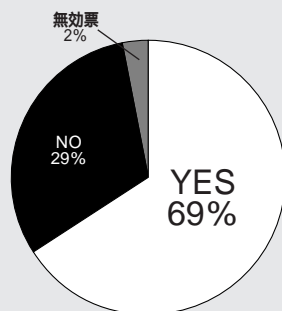
# Thinking!

## インターネットマガジン世論調査

テーマ

夫婦別姓に賛成ですか？ <結果報告>

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/yes-no/>



インターネットマガジンでは、さまざまな社会問題について、より多くの個人の意見を聞いてみたいという趣旨のもと、WWWサーバー上で世論調査を実施中。政治・教育・風俗など、その都度ホットなテーマを設定して、皆さんのアクセスを待っています。お答えいただいた方全員に20iPを進呈します。

次のテーマ 原発は必要か？

We Love Internet Peopleの宛先電子メールアドレスは

[ip-box@impress.co.jp](mailto:ip-box@impress.co.jp)

WWW情報、インターネットに関する意見、面白い企画、メーリングリストの会員募集、何でもいいので送ってください。インターネットポイント（P284）発行中。

## 日本語の検索サーバー「千里眼」の作者

早稲田大学理工学部情報学科修士1年 田村健人さん



どんなきっかけで始めたんですか?

田村：スタートしたのは94年12月です。当時は日本語で検索できるサーバーがなかったので作ろうと思ったのが大きな理由です。最初にロボットを走らせたのが12月で、検索エンジンも12月中に作りました。ネットニュースで紹介したのは95年の1月でした。

ロボットを使った日本の検索サーバーとしては最初のものでしょうか?

田村：実はその前にNTTの方が走らせていたロボットがあって、日本のものとしては2番目だと思います。ただ、その方はウェブではなく、メールでリクエストして検索結果が返ってくるというインターフェイスのものを作っていましたから、ウェブの検索サーバーとしては初めてだと思います。

1年前からということですが、目立ち始めたのは最近という気がするんですか?

田村：実は最初は名前がついていなかったんです。「早稲田にある探すモノ」という感じで呼ばれていて、千里眼という名前が決まったのは数か月前です。1か月くらい

「名前募集中」というタイトルにしたら、メールが数十通きて、その中から気に入ったのにしました。名前をつけたら、にわかになんか人気が出てきましたね。名前というのは大事なんだなと思いました(笑)

サーバーからデータを取ってくるのをロボットと言いますが、具体的にどんなことをするんですか?

田村：人間にたとえれば、あるページをブラウザーに表示させたら、片っ端からそのページのリンクをクリックしていきます。それを自動的にやるプログラムがロボットです。千里眼の場合は、jpドメインのHTMLを全部持ってきます。あらかじめサーバーの名前はわかっていて、ルートページからたどっていくのを何回もくり返します。新しいサーバーはどこからリンクが張られていけば検出できます。今のところ月に1度ロボットを走らせていて、プログラムが悪いせいもあるんですが、夜だけ走らせて10日くらいかかります。最近ロボットのプログラムを改良したので、もう少し速くなると思います。

インターネットを始めた人が、自分の好みのサイトを探すためにまず利用するのはYahooだろう。こうした検索や分類をしたサーバーはアメリカには数百あるが、日本でも最近検索サーバーが増えてきた。そのなかでも老舗と言えるのが早稲田大学理工学部情報学科のサイトにある「千里眼」だ。情報学科のサーバーを管理し、「千里眼」の構築から運営まで1人でこなしている田村健人さんにお話をうかがった。

夜だけロボットを走らせるのはなぜですか?

田村：相手のサーバーに負荷を与えないためです。インターネットにはロボットを使うときのガイドラインがあって、たとえばあるサーバーからは最低1分以上の間隔を開けてデータをとってきなさいとか、紳士協定みたいなものがあります。

ロボットで集めてきたデータはそのあとどんなふう処理するんですか?

田村：ロボットのやることは全部のHTMLを集めてくるだけです。それほど難しくありませんが、そのあとの処理のほうが大変です。全部で1ギガくらいの量がありますから、そこから検索コード化するためにはタイトルとアンカーを抽出します。

1ギガ全部を残しておけば、全文検索もできるわけですね?

田村：ディスクを食ってしまうので、それは難しいですね。千里眼用には2ギガくらいしかないんです。それに東京大学のODINが全文検索をやっていますから同じことをやってもしかたないと思います。や



はり、ほかの人のやっていないことをやりたいというのがありますし。

どこもやっていないというのが、URLを入力するとそのページがどこからリンクされているかを表示する「リンクの逆探知」ですね？

田村：最初はタイトルの検索しかできなかつたんです。いろんな方からアンカーの検索もできるようにしたらどうだというアドバイスをいただいて、まずそれをできるようにしました。ロボットでデータを集めているなら、リンクの逆探知もできますねというメールがきて、やってみようかなと思ったんです。

利用者からのメールはかなりきますか？

田村：こういうことはできないかという要望がけっこうありますね。今は、あるページが更新されているかどうか簡単にわかるようにできないかと言われてます。がんばればできるんじゃないかと思うので、気が向いたらやろうと思っています。それから、ロボットに興味を持ったけどどういふものなのかという問い合わせもよくきます。ロボットのプログラム自体は難しいものではなくて、千里眼でも基本的な部分は2日くらいでできました。httpのプロトコルさえわかっていたら簡単にできますよ。

そうすると、検索サーバーで難しいところはどのへんですか？

田村：検索部分に苦労しました。扱うデータが巨大なので、一度走らせたら終わるまで丸1日かかりますから、気軽に走らせて試すことがなかなかできないんです。それから、ロボットを走らせていて思ったのは、HTMLの文法をまちがっているページがすごく多いということです。たとえばHTMLでは不等号は直接書いてはいけないんだけど、平気でやっているページが企業のサーバーにもけっこうあります。

URL <http://www.info.waseda.ac.jp/search.html>



表示はおかしくならないんですか。

田村：ブラウザは柔軟性がありますから、見ただけではわからなくて、気がつかないんです。初めの頃はHTMLは正しいという前提でプログラムを組んでロボットを走らせていましたから、よくひっかかりました。最近のネットスケープはソースのまちがいを指摘する機能がありますし、WWWコンソーシアムの出しているアリーナというブラウザはまちがったページは画面で指摘してくれますから、そういうソフトを使ってほしいですね。

ほかに困ることはありますか？

田村：ロボットを走らせるときに、相手のホストの名前が1つとはかぎらないんです。たとえば、情報学科のホストはwww.info.ac.jpでもあるし、ns.infoでもあります。そういうとき、どちらがサーバーとして正式か判断しなければいけないので、困りますね。どのWWWサーバーもWWWとついているわけではありませんから。今はちょっとしかかげんですが、名前を逆順にソートして上のほうを採用するようにしています。

検索サーバーをやっていてどんなところが面白いですか？

田村：面白いというか、もともとプログラムを組むのが好きなんです。最近OS/2でプログラムを組んで遊んでいます(笑)。要するにコンピュータマニアですから、情報学科に入ったのもそういうことがやれるかなと思ったからです。それから、千里眼がウェブ社会に貢献していると思っていますから、がんばれるというもあります。

パソコンはいつ頃から始めたんですか？

田村：中学1年にMSXを買ったのが最初です。それから、高校に入ると、PC-8801MA、大学に入ってからX68000、大学院でIBM-PC互換機を買いました。プログラムはBASICから初めて、マシン語、C、LISP、C++なんかをやっています。

インターネットを始めたのはいつですか？

田村：学部で1年からUNIXが使えたので、最初は電子メールだけでも便利だと思っただけで、FTPでいろんなソフトが持ってこられるのもすごいなと思いました。ウェブに触るようになったのは、94年の4月くらいから。8月に情報学科でもサーバーを立ち上げることになって、その管理を任されて本格的にやるようになりました。

今後はどんなことをやりたいですか？

日本で動いているロボットだけでも4種類か5種類あるんですが、それを1種にできないかと考えています。何種類もあっても同じことをやっているのは無駄なわけですね。検索サーバーの管理者同士で話し合いをして分担するとか誰か1人がやってデータをどこかに置いておくとかするようになればいいと思います。

(取材・文/鈴木康之)

# NetSerfing!

読者が作るイエローページ

週末になるとドットと増えるはずの投稿が年末・年始減ったのは、帰省・旅行で大学・職場からインターネットと離れたからでしょうか。復帰した皆さん、今月もよろしく。

## 世界のインターネットカフェ情報

**URL** <http://www.easynet.co.uk/pages/cafe/ccafe.htm>

世界中のインターネットカフェについての詳しい情報はここにあります。海外へ出かける前にはぜひチェックすることをお勧めします。  
(Masa Uc^ida Masatomo)



## HOME PAGE MAKER

**URL** <http://www-rd.cc.tohoku.ac.jp/matsui/mkhome/>

なんかみんなホームページって騒いでるから、俺も作るうかな。でも書き方がよくわからないし。HTMLっていったいなんなんだあ。やっぱやめようかな～なんてあきらめるのはまだ早い。簡単な質問に答えてボタンを押すだけで、あなたのホームページファイルができます。便利でしょ。哲学的に言うならば、このページはただのホームページではなく「メタホームページ」の位置に存在するのかもしれない。

(松井健一)



## ジャマイカ政府観光局ページ

**URL** <http://www.cyber.ad.jp/jamaica/home.html>

海外旅行情報がほしいのだけど、外国のサーバーの情報は英語なんでよくわからんなあと思ってた、各国の政府観光局が日本語でWWWサーバーを立ち上げはじめています。ここジャマイカ政府観光局もそんなサーバーの一つです。ジャマイカの雰囲気よく出たイラストの楽しいページです。

(山本恭弘)



## Sapporo City ゲストブック

**URL** <http://www.sec.or.jp/cgi-bin/guest-book.html>

最近公共機関がインターネット上で情報提供することを積極的に推進しているようですが、その際の見本としていただきたいページ

を紹介します。故郷を地方に持つ人が昔の友人にネット上で再会できたらすばらしいですね。そんな願いをここでは叶えられます。ゲストブックと呼ばれる記帳ページで自己PRしておけば、故郷の友人があなたを見つけてくれるかも。ちなみに私は2人の友人と7年ぶりの再会を電子メールで果たすことができました。

(本間秀一)



## これが本当の電子掲示板！?

**URL** <http://www.netscape.com/people/mtoy/sign/index.html>

Netscape社のウェブサーバーはいろいろとお世話になっていますが、全世界に向けて自分のメッセージを出せるボードがあります。そのサインボードは街でよく見かける電光掲示板です。その電光掲示板をJPEG画像で取り込み、表示するというものです。私もさっそく試してみましたが、その画像が全世界で見ることができると、ちょっと感動しました。誰かへのメッセージを表示してみるのいいかもしれません。まだそんなに知られてないのが、私が試したときにはすぐに表示することができました。

(矢野直彦)



## Drug Seek

**URL** <http://www.nsknet.or.jp/keijin/drgseek.htm>

「あなたが病院からもらった薬を薬剤師が責任をもって調べ、薬効をお知らせします」というたい文句の無料サービスを行っているホームページです。識別コード、製薬会社ロゴマーク記号(製薬会社記号一覧表から選ぶ)、剤型、色、製薬会社名、製品名、質問欄などの記入欄を埋めて(会社名、製品名はわからない場合は空欄)送信すると、電子メールで薬効を教えていただけるそうです。

(Masataka Yoritata)



ジャマイカ政府観光局ページ

## Win95用ソフト満載

**URL** <http://www.mich.com/surfing/win95.html>

Windows95が発売されたものの、まだまだ32ビットのソフトが少なくてがっかりしているあなたに贈る最高の情報です。Windows95対応のシェアウェアとフリーウェアがぎっしりと詰め込まれたこのページはきっとあなたのWin95ライフをより快適に導いてくれるものと信じています。Lview-proやWinzip、Netscape2.0やVRML ViewerにJavaブラウザきつと心ひかれるソフトをたくさん見つけることができるでしょう。(Makoto Morikawa)



## 「まじょりかくん」

**URL** <http://www.axes.co.jp/ayumu/majorika/>

今はなき「MacJapan」誌に連載されていた4コマ漫画、「まじょりかくん」が読める。廃刊はちょっと残念でした。



## BosniaLINK

**URL** <http://www.dtic.dla.mil/bosnia/>

ボスニアの平和維持活動に関する情報を提供しているDoDのページです。最近日本での報道量が減ってきたボスニアの情勢を、くわしく知ることができます。米英仏の担当範囲の地図(<http://www.dtic.dla.mil/bosnia/bosniemap.html>)やザヴァ川の架橋計画の地図(<http://www.dtic.dla.mil/bosnia/slide4.html>)、スケジュール図(<http://www.dtic.dla.mil/bosnia/slide2.html>)など、ひと目でわかる情報から、フリーフィングの記録までもりだくさんです。

(川崎伸悟)









## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)